

# 特定外来生物 ヒアリとアカカミアリに注意



ヒアリ



アカカミアリ

ヒアリは、平成29年6月に初めて国内で確認されて以降、港湾・コンテナ・集積場などで確認されています。県内では博多港・北九州港・福岡市で確認されています。

アカカミアリも、県内では博多港・苅田町・福岡市・北九州市で確認されています。

●**発見した場合は、連絡してください。**  
●**毒性** スズメバチ類やマムシに比べると低いとされていますが、刺されると赤く腫れて中に膿が溜まります。体質によっては、アナフィラキシーショックを起こす場合があります。

●**特徴**  
◇ヒアリ 体長2〜6ミリメートル、全体的に赤茶色で腹部が黒い  
◇アカカミアリ 体長3〜8ミリメートル、全体が黄色がかった茶色

◇**共通の特徴** 触覚の先2つがぶくらんでおり、胸にトゲがない、胸と腹部の間にこぶが2つある  
◇**生息場所** 公園の裸地、コンクリートの隙間、草地などの開けた環境に生息し、土中に巣を作ります。

●**刺されないために**  
◇絶対に素手で触らない  
◇野外での作業は、長袖、長ズボン、手袋などを着用する

◇ベビーパウダーを靴やズボンにかける

●**刺された場合は** 刺されたときの症状は人によって異なりますが、激しい痛みやめまいのような症状が出た場合は、病院を受診してください。

●**駆除方法** 市販の家庭用殺虫剤で駆除できます。アリ専用のベイト剤などをまくことも有効です。

●**問い合わせ先**  
◇循環型社会推進課生活環境・最終処分場担当

◇ヒアリ相談ダイヤル  
☎(580)1887

## 環境講座



### 親子で参加「いきもの玉手箱」 御笠川編

市内の全小学校で生物多様性の保全に関する環境教育に取り組んでいる「しぜん・いきもの環境教育実行委員会」が、おのじょう緑のトラスト協会と共にイベントを行いました。

初めてとなる今回は、夏休み期間中の7月23日(土)に、ふるかわ公園内のトラスト協会事務所で行い、7家族19人が参加しました。

身近な存在の御笠川の話に加えて、御笠川の川底にいる生き物を観察しました。子どもたちは、生き物に触れてみたり、動きを観察したり、親子で図鑑とらめっこをしたりして、種類を調べていました。



会場の様子



兄弟で一緒になって観察している光景など、学校とは違った雰囲気です。生き物について調べ、有意義なものになりました。

地球温暖化が進み、生き物も大きな影響を受けています。たくさんの種類の生き物が存在する中で、地球の環境が維持されています。

今こそ、地球に優しい行動につながっていきませんか。

●**問い合わせ先**  
循環型社会推進課ゼロカーボン推進担当

☎(580)1886